

関西日中平和友好会 第六回ビジネス交流会

2010年7月21日（水） 場所 淀屋橋セントイースト 出席者58名

関西日中平和友好会のメインイベントであるビジネス交流会も、今回で第六回目を向かえた。回数を重ねる毎に参加者が増加し、ますます活況を呈し当初60名を予定していたが58名の方々が出席された。

冒頭、見本会長から挨拶があり、今回新たに法人部会長として就任した安見氏からの挨拶を終え

、公演に入った。今回のゲストスピーカーは駐大阪中国総領事館の経済商務室長である劉雲清領事を予定していたが、健康上の理由で代役として蘆偉科副領事が出席され、「上海万博と今後の中国経済動向」を出席者に説明して頂いた。



また来賓の挨拶として近畿情報産業協議会（K I S A）の吉永会長からお言葉を頂き、その後の乾杯の音頭では関西情報産業・活性化センター（K I I S）の山寄専務理事にお願いし、喉を潤し懇親会に突入し、いよいよ情報交換のバトルが展開された。会場は今回初めて、淀屋橋にあるレストラン“Kent East”で開催したが、58名の出席で会場は熱気ムンムン、狭いながら各出席者は名刺交換や情報交換を活発に行っていた。

なかには中国の新聞社の取材やNPO関西国際障害者協会から田山理事長、田山事務局長、そして北京から来日した障害者の女性・羅さんも出席した。食事もそこそこに、企業PRする三分間スピーチを行い6社ほどが会社PRをおこなった。特に今回の交流会のために鹿児島県から出席された鹿児島食品(株)尾山常務から、数千本の処理能力がある焼き鳥機械装置を中国に販売したい話が注目を引いた。



また北京の出席者・羅さんから見本会長へ美しい仏様の絵画をプレゼントされる光景もあり、日中友好の場面も見られた。

